

公共交通に関する報告事項について

令和3年7月16日
嘉麻市 地域活性推進課

1 嘉麻市バス利用状況について

《令和2年度及び令和3年度からの運行計画の変更点》

令和2年4月 嘉麻市バスの運行形態について大幅に見直し運行を開始。

【変更の概要】

- 市バス路線全体の見直し (14路線→11路線)
- 福祉バスの市バス統合 (碓井福祉バス・稲築福祉バス)
- デマンド運行型バスの導入 (旧市町村単位の4地区、ドア to ドア)
- 市バス運賃の改定 (市内 大人 100円→200円 小児 50円→100円)
(市外 大人 300円→400円 小児 150円→200円)

令和3年4月 令和2年度中の要望や利用状況を基に変更を行う。

【変更の概要】

- デマンド運行型バスの見直し
 - ・バスステーションへの全地区からの乗入
 - ・乗り継ぎポイントの設定 (旧市町境に8カ所)
 - ・運行範囲の変更 (「嘉穂百谷」「上山」「嘉穂猪之鼻」を嘉穂地区から山田地区へ変更)
- 嘉穂地区枝線路線の見直し
 - ・デマンド運行型バス運行時間 (10:00～11:30 , 13:30～18:00 → 8:30～18:00)
 - ・デマンド運行型バス予約受付時間 (2時間前 → 1時間前)
 - ・路線定期運行の路線変更 (「嘉穂東線 , 嘉穂西線」 → 「嘉穂線」)
- その他一部路線及びダイヤの見直し

1 嘉麻市バス利用状況について

《令和2年度 利用者数》

路線名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
幹線 路線	稲築桂川線	495	651	1,428	1,447	902	1,315	1,570	1,326	1,112	949	843	849	12,887
	熊ヶ畑桂川線	2,563	2,450	4,185	3,896	3,134	3,388	3,834	3,366	3,220	2,484	2,582	3,136	38,238
	市内循環線 東回り(山田)	435	604	1,012	1,207	899	1,081	1,251	1,221	1,132	901	1,009	1,096	11,848
	市内循環線 西回り(碓井)	376	475	892	790	662	775	874	736	690	553	649	714	8,186
	幹線路線合計	3,869	4,180	7,517	7,340	5,597	6,559	7,529	6,649	6,154	4,887	5,083	5,795	71,159
枝線 路線	山田北回線	226	260	304	362	298	339	407	308	333	229	303	367	3,736
	山田南回線	200	208	307	239	254	264	312	260	258	275	240	281	3,098
	デマンド運行型バス(山田)	53	63	168	193	197	190	270	225	234	155	206	260	2,214
	山田地区小計	479	531	779	794	749	793	989	793	825	659	749	908	9,048
	稲築北回線	55	47	129	154	151	159	178	141	126	111	124	151	1,526
	稲築南回線	106	95	199	249	237	237	357	322	330	241	257	285	2,915
	デマンド運行型バス(稲築)	54	48	65	81	58	53	75	63	75	90	103	126	891
	稲築地区小計	215	190	393	484	446	449	610	526	531	442	484	562	5,332
	碓井線	63	73	82	83	88	84	90	95	84	64	56	103	965
	デマンド運行型バス(碓井)	51	56	42	71	66	69	142	109	114	97	123	128	1,068
	碓井地区小計	114	129	124	154	154	153	232	204	198	161	179	231	2,033
	嘉穂東線	41	62	90	96	99	99	132	128	147	107	105	151	1,257
	嘉穂西線	51	51	58	40	42	46	63	62	83	72	70	99	737
	デマンド運行型バス(嘉穂)	131	161	159	144	104	136	140	191	228	106	108	171	1,779
	嘉穂地区小計	223	274	307	280	245	281	335	381	458	285	283	421	3,773
	枝線路線合計	1,031	1,124	1,603	1,712	1,594	1,676	2,166	1,904	2,012	1,547	1,695	2,122	20,186
総合計		4,900	5,304	9,120	9,052	7,191	8,235	9,695	8,553	8,166	6,434	6,778	7,917	91,345

※ 令和2年度乗車人数実績 91,345人 (目標値：120,000人)

4月、5月は緊急事態宣言の発令により、休校や在宅勤務者が増加した影響で利用者数が減少したが、6月以降は利用者数が増加した。しかし、1月、2月に再び緊急事態宣言が発令すると、利用者数は減少した。

➡新型コロナウイルスはバスの利用者数に大きく影響する。

(運輸支局の利用人数前年比報告は、4月、5月は約50%、6月、7月は約70%となっている。)

1 嘉麻市バス利用状況について

《令和3年度4,5月利用者数（令和2年度との比較）》

令和2年度 路線		4月	5月	合計
幹線 路線	稲築桂川線	495	651	1,146
	熊ヶ畑桂川線	2,563	2,450	5,013
	市内循環線 東回り（山田）	435	604	1,039
	市内循環線 西回り（碓井）	376	475	851
幹線路線小計		3,869	4,180	8,049
枝線 路線	山田北回線	226	260	486
	山田南回線	200	208	408
	山田地区デマンド	53	63	116
	山田地区小計	479	531	1,010
	稲築北回線	55	47	102
	稲築南回線	106	95	201
	稲築地区デマンド	54	48	102
	稲築地区小計	215	190	405
	碓井線	63	73	136
	碓井地区デマンド	51	56	107
	碓井地区小計	114	129	243
	嘉穂東線	41	62	103
	嘉穂西線	51	51	102
	嘉穂地区デマンド	131	161	292
	嘉穂地区小計	223	274	497
枝線路線小計		1,031	1,124	2,155
総 合 計		4,900	5,304	10,204

令和3年度 路線		4月	5月	合計
幹線 路線	稲築桂川線	1,261	1,292	2,553
	熊ヶ畑桂川線	3,413	3,037	6,450
	市内循環線 東回り（山田）	1,241	1,228	2,469
	市内循環線 西回り（碓井）	922	957	1,879
幹線路線小計		6,837	6,514	13,351
枝線 路線	山田北回線	352	258	610
	山田南回線	290	267	557
	山田地区デマンド	276	266	542
	山田地区小計	918	791	1,709
	稲築北回線	168	162	330
	稲築南回線	263	220	483
	稲築地区デマンド	138	123	261
	稲築地区小計	569	505	1,074
	碓井線	101	119	220
	碓井地区デマンド	106	102	208
	碓井地区小計	207	221	428
	嘉穂線	5	2	7
	嘉穂地区デマンド	340	304	644
	嘉穂地区小計	345	306	651
枝線路線小計		2,039	1,823	3,862
総 合 計		8,876	8,337	17,213

※ 緊急事態宣言により、令和2年度減少していた4月、5月と比べると令和3年度は両月とも大幅に利用者数が増加。
令和3年4月から5月においては稲築桂川線、市内循環線 西回り（碓井）、碓井線以外の路線で利用者数が減少している。

2 嘉麻市総合バスステーションについて

1. 令和2年度からの変更点

(1)令和3年4月から(一社)嘉麻市観光まちづくり協会に管理業務を委託

- ・前年度同様のBSの管理業務に加え、観光案内、BS中央エリア(市民ギャラリー)での企画展示等の観光やBSへの集客に関する業務を委託
- ・BS内でのかましちゃんグッズの販売

(2)令和3年4月29日(ゴールデンウィーク初日)からフルーツサンドTHREEがテナントでの営業開始



BS外観(正面右側がテナント)



テナントオープン初日の待機列



テナントオープン初日店内



管理人カウンター(グッズ販売)

2 嘉麻市総合バスステーションについて

2. 利用者数(前年度比較)

		バス利用		テナント (レジ通過人数)	その他	利用者合計	備考
		市バス	西鉄バス				
令和2年	4月	105	106	—	17	228	・市バス路線及びダイヤの大幅な改定直後 ・4月7日緊急事態宣言発令(～5月31日まで)
	5月	158	152	—	13	323	
	合計	263	258	—	30	551	
令和3年	4月	367	520	139	59	1,085	・4月29日テナントオープン ・5月7日緊急事態宣言発令
	5月	297	451	1,403	116	2,267	
	合計	664	971	1,542	175	3,352	

- ・昨年4、5月と比較して、**市バス利用者401人増、西鉄バス利用者713人増**
BSの開設から毎月徐々に利用者が増えている傾向にあり、令和2年4月の大幅な路線及びダイヤ変更にならず利用者が増えたこと、第1回目の新型コロナウイルス感染症の流行に伴う緊急事態宣言解除後から少しずつ人の移動が増えたものと考えられる。**バスを利用した施設利用者は令和3年4月が887人で昨年度の月間最大利用者数の844人(11月)**を上回っている。
- ・令和3年4月29日からテナントがオープンし、バス利用以外の利用者が大きく増加したため、BS全体の利用者数は、昨年4、5月と比較して、**2,802人の大幅増**となっている。

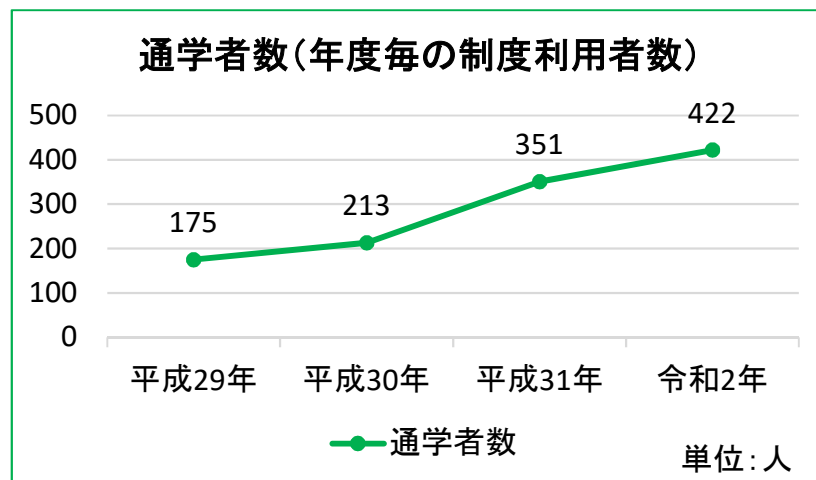
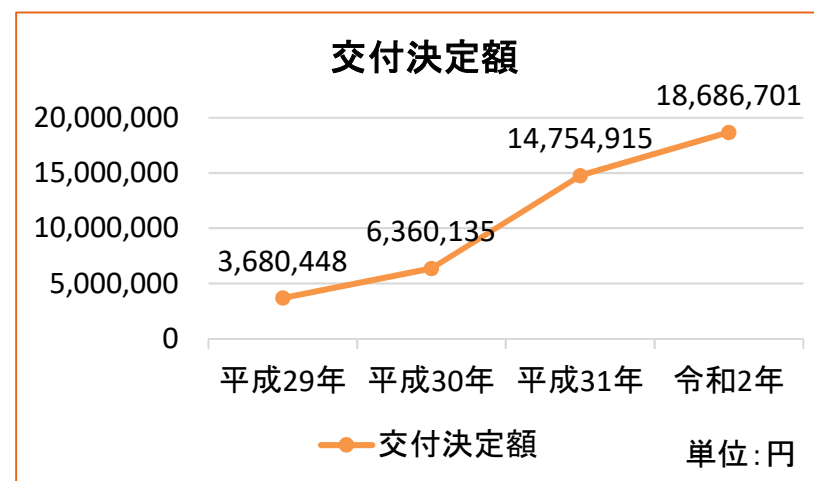
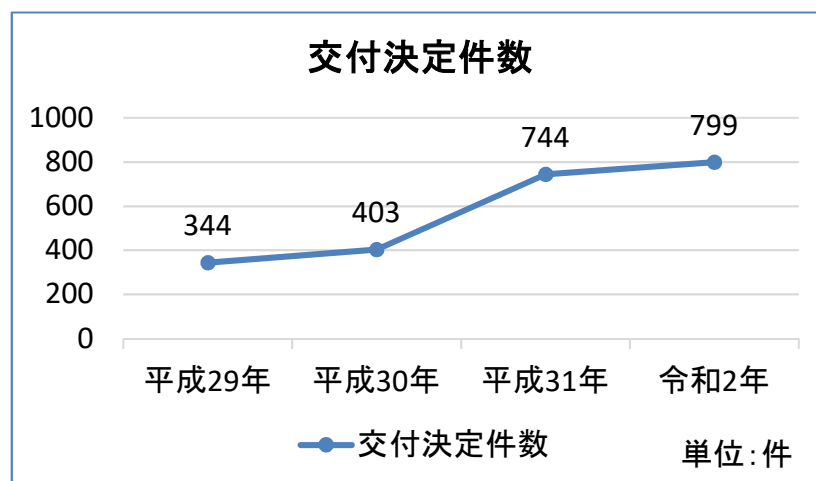
テナントの集客力もあり、バス利用以外の利用者が大きく増加している。現在、管理業務の一つである案内業務をさらに強化することで、交通の結節点としての役割のみならず、市内周回の促進、それに伴う市内観光資源の有効活用も期待できるのではないかと考える。

3 嘉麻市通学等補助金について

公共交通の利用及び定住化促進、通学に関する負担軽減を目的とした事業。
嘉麻市在住の方が通学のために使用するバス、JR等の定期券購入に係る経費の5割を補助金として交付。

【経過】

- ・平成29年4月から制度開始（嘉麻市高校通学等補助金）
- ・平成31年から大学生・専門学生等の19歳以上も対象に拡大し、補助率も3割から5割に変更。



4 嘉麻市高齢者交通支援事業及び嘉麻市グランドパス65購入補助証明書交付事業の実績について



◆ 嘉麻市高齢者交通支援事業申請数

令和3年3月末 720件 ➡ 令和3年5月末現在 **773件**

◆ 嘉麻市グランドパス65購入補助証明書交付申請数

令和2年度実績 **310件** 令和3年度5月末現在 **53件**

嘉麻市高齢者交通支援事業申請数	令和2年度												令和3年度		合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
60代	54	12	13	7	2	4	11	8	4	0	2	2	9	2	130
70代	90	33	41	25	14	11	12	19	9	10	7	9	13	2	295
80代	130	24	33	18	11	3	20	6	14	7	11	13	15	10	315
90代	16	1	4	2	1	2	2	1	1	0	1	0	2	0	33
100代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	290	70	91	52	28	20	45	34	28	17	21	24	39	14	773

嘉麻市グランドパス65 購入補助証明書交付申請数	令和2年度												令和3年度		合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
60代	12	1	5	4	1	3	7	1	3	4	2	0	5	4	52
70代	15	7	13	10	11	14	10	13	9	8	10	6	14	7	147
80代	21	8	13	12	14	4	15	7	9	6	10	7	18	4	148
90代	2	1	1	1	1	1	2	1	2	1	0	2	0	1	16
100代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	50	17	32	27	27	22	34	22	23	19	22	15	37	16	363

4 嘉麻市高齢者交通支援事業及び嘉麻市グランドパス65購入補助証明書交付事業の実績について

令和3年7月1日よりグランドパス65の料金改定が行われ、市の補助額を改定しています。
新たに利用時間が限定された「おひるのグランドパス65」が販売され、市の補助を開始しています。

◆ 料金改定前

券種		定価	補助額	本人負担額
グランドパス 65	3ヶ月券	13,300円	3,300円	10,000円
	6ヶ月券	23,400円	6,400円	17,000円
	1年券	42,800円	12,800円	30,000円



◆ 料金改定後

券種		定価	補助額	本人負担額
グランドパス 65	3ヶ月券	15,000円	4,000円	11,000円
	6ヶ月券	28,000円	8,000円	20,000円
	1年券	51,000円	16,000円	35,000円
おひるの グランドパス 65	3ヶ月券	13,000円	3,000円	10,000円
	6ヶ月券	23,000円	6,000円	17,000円
	1年券	42,000円	12,000円	30,000円

5 嘉麻市地域公共交通網形成計画について

1. 嘉麻市地域公共交通網形成計画とは

本計画は、「第2次嘉麻市総合計画」、「まち・ひと・しごと創生 嘉麻市人口ビジョン・総合戦略」を上位計画とした本市の交通のマスタープランであり、この計画に基づいて嘉麻市の公共交通の利便性向上に向けた取り組みを実施している。

2. 計画期間

平成29年度から平成33年度までの5年間を計画期間とする。

！本来であれば今年度末で計画は満了となる予定であったが、令和2年4月から福祉バスの統合や新規路線の新設等、嘉麻市バスの形態の大幅な変更後、1年程度しか経過しておらず、計画の効果や課題が現時点では正確に把握しにくい状態にあるため、国に確認の上、現時点での進捗状況を整理し、今年度内に計画の見直しを行うことにより、計画を1年延長することとしている。

3. 計画の進捗状況について

令和3年6月に、「総務課、防災対策課、社会福祉課、産業振興課、学校教育課、高齢者介護課、地域活性推進課」を対象に地域公共交通網形成計画の進捗状況に係る実施状況調査を実施し、進捗状況は別添のとおりであった。

進捗状況	件数(全28件)	一 部 抜 粋
完 了	16件	福祉バスの市バス統合、乗継拠点(バス来るかま)の整備、市バスと認識できる統一した車両カラーリングの実施 等
継続中	12件	嘉麻市高齢者運転免許自主返納等支援事業、トリガー制度の導入、商店街イベントとコラボした市バス利用促進の実施 等
未着手	0件	

福祉バスの市バス統合や、新規路線の運行開始等は令和2年4月で完了。利用者増加を目指したソフト面の取り組みを継続して実施中。これらの進捗状況を踏まえ、計画の見直しについて調整を図っていく。

No	目標 番号	目標	実施 事業 番号	実施事業名	個別 事業 番号	個別事業名	事業概要	実施担当課	①取り組み内容	②評価指標及び目標値	④令和2年度までの実施内容	⑤課題及び今後(R3年度以降)の実施 予定	備考			
1	目標1	嘉麻市の活性化政策を推進する安心・安全な公共交通の構築	①	促進に貢献する公共	1	嘉麻市と周辺市町に設置されている学校への通学手段の確保	公共交通を利用した周辺市町の高等学校等への通学手段が不足している状況から、通学に必要な時間帯での市バスや民間バスの運行や路線の整備等、本市からの通学における利便性の向上を図り、定住化促進につなげる。	地域活性推進課	通学に利用できる新たな路線を新設する。	稲築桂川線、熊ヶ畑桂川線、市内循環線(西回り・東回り)の構築。	・平成31年から稲築桂川線及び熊ヶ畑桂川線、令和2年から市内循環線を構築し現在も運行中。 令和2年度利用者数 稲築桂川線:12,887人／熊ヶ畑桂川線:38,238人／市内循環線(西回り東回り合算):20,034人		完了			
2					2	広域通勤・通学需要に対する移動手段の検討	福岡、北九州都市圏への移動に係る近隣市町の主要駅へのアクセスを充実し、通勤・通学に係る手段の確保により、利便性向上につなげる。	地域活性推進課	広域通勤・通学に利用できる新たな路線として、桂川駅や下鴨生駅に結節する稲築桂川線を新設する。	・稲築桂川線の構築。 ・平成31年度運行開始。	・平成31年4月から現在も継続して運行中。(稲築桂川線) 令和2年度利用者数12,887人 ・通学、通勤等での利便性向上を図るため熊ヶ畑桂川線のダイヤ改定等を行った。		完了			
3			①	定住促進に貢献する公共交通	3	通学者に対する負担軽減策の検討	公共交通を利用する通学者の負担軽減を図るため、通学定期券等の購入に対する助成を行うなど、公共交通利用における運賃負担の軽減と公共交通利用者の増加を促す。	地域活性推進課 学校教育課	【地域活性推進課】 ・高校等通学補助金の新設。 【学校教育課】 ・遠距離通学する児童・生徒に通学対策補助金を交付している(稲築西小・嘉穂小・嘉穂中)。西鉄バス利用。 ・嘉穂小・中のスクールバスを運行している。 ・高校等通学補助金について、小・中学校を通じて周知させる。	・高校生の通学時の市バス、民間バス利用率の向上(平成33年度30%)。 ・平成31年度見直し後の運行開始。	【地域活性推進課】 ・高校等通学補助金を実施し通学定期券に係る購入料金の負担軽減を図っている。また、随時周知を行っており利用者の増加にも努めている。 【学校教育課】 ・遠距離通学する児童・生徒に通学対策補助金を交付している(稲築西小・嘉穂小・嘉穂中)。西鉄バス利用。 ・嘉穂小・中のスクールバスを統合して運行している(登校便同乗。)	【地域活性推進課】 ・嘉麻市HPや広報誌等を活用し継続した制度の周知活動を行う。 【学校教育課】 ・嘉穂小・中スクールバス運行の通学距離に応じたバス路線・バス停の見直し。 嘉穂中PTAからの意見について調査・検討の実施。	継続中			
4		②			地域の安心・安全に向けた公共交通利用への転換推進	1	運転免許自主返納者に対する公共交通利用促進策の検討	高齢者による交通事故の増加は全国的な課題となっている。本市においても例外ではなく、交通事故を未然に防ぐためにも、運賃負担等の軽減等を図りながら、運転免許自主返納を支援するとともに、公共交通への転換を促進する。	防災対策課	高齢運転者で自発的に運転免許証を返納した方に対し、市バス回数券等を支給する嘉麻市高齢者運転免許自主返納等支援事業を実施する。	嘉麻市高齢者運転免許自主返納等支援事業実績200件	嘉麻市高齢者運転免許自主返納等支援事業実績200件	まだ事業の内容や存在自体を知らない市民が多数存在すると思われるため、令和3年度は広報誌掲載による広報活動を実施予定。引き続き嘉麻市高齢者運転免許自主返納等支援事業を実施していく。	継続中		
5						③	庁舎整備と連携した公共交通網の再整備	1	庁舎整備に伴う4つの地域の活性化・連携につながる交通網の整備	市内を循環する形で4つの地域を公共交通で結び、市内の移動を円滑に行えるような移動手段を確保する。各庁舎間の移動のみならず、各地域の商業施設や病院、その他主要な施設を循環することで、4つの地域の活性化につなげる交通網の整備を行う。	地域活性推進課	市内を循環する新たな路線として、市内循環線を新設する。	・市内循環線の構築。 ・平成32年度運行開始。	・令和2年4月から現在も継続して運行中。 令和2年度利用者数20,034人		完了
6								2	各支所を交通結節点とする地域内交通網の再編	4つの地域の一体性を醸成するための交通の要所として、各支所に交通結節点を設置し、円滑な地域内移動を確保する。また、広域的な移動に対する乗継の拠点として位置付けを行い、必要な待合環境について充実を図る。	地域活性推進課	交通の要所として、各支所に交通結節点を設置し、待合環境を整備する。	交通結節点を設置し、待合環境を整備。 平成32年度整備。 交通結節点の設置箇所(平成33年度:5箇所)	・複数の路線が各支所のバス停を経由し、乗継の結節点として機能するよう路線を構築。 ・令和2年には各支所及び本庁舎が供用開始となり、庁舎内で待合ができるよう整備を行った。		完了
7		④	市内外をつなぐ広域観光周遊路線の検討		1	嘉麻市内外の観光周遊を可能とする路線の検討	観光資源の有効な活用による市の活性化を図るため、隣接市町に訪れた観光客が本市の観光地に移動できる公共交通の整備を行う。特に、八丁トンネル開通に伴う朝倉方面とのアクセス向上については、観光のみならず日常生活における地域間の移動を確保できるような路線等の構築について検討を進める。	地域活性推進課	観光地に移動できる制度等を構築する。	観光地に移動できる制度の構築。 平成32年度運行開始。	・令和2年4月から大幅な路線及びダイヤの改定を行い、桂川駅からのアクセスの確保及び飯塚市や田川市とも接続ができるように民間バスやコミュニティバスとの乗継を考慮した路線を構築した。 ・令和2年4月からデマンド運行型バスの運行を開始し、バスの通らない市内の隅々まで市バスでの移動が可能となった。	更なる利便性向上を図るため利用者の意見を基にダイヤ及び路線の見直しの検討。	継続中			
8	目標2			分かりやすく利用しやすい公共交通の実現	⑤	誰もが分かりやすく利用しやすい公共交通体系の整備	1	利用ニーズや目的地的確に応じることが できる公共交通体系の整備	運行する路線の目的を明確にし、利用者ニーズに適応した経由地及び目的地の設定や利用が見込まれる時間帯でのダイヤの構築、よく利用される施設への乗り入れを等、利用者に分りやすく、利用しやすい交通体系の整備を行う。	地域活性推進課	利用者に分かりやすく、利用しやすい交通体系の整備として、運行路線を作成する。	全体見直しを行った路線の構築。 平成32年度運行開始。	学校、通院、買い物や入浴施設等への移動を考慮した路線を作成し、令和2年4月から大幅な路線及びダイヤの改定を行った。	更なる利便性向上を図るため利用者の意見を基にダイヤ及び路線の見直しの検討。	継続中	
9		2	市バスのカラーリングの統一・分かりやすいバスの行き先表示等運行車両の改善				利用者が市バスと認識できる統一した車両のカラーリングを施すとともに、当市のゆるキャラである「かましちゃん」を活用するなど、認識しやすく愛着の持てる車両の外観整備を行う。また、バスの行き先についても分かりやすい表示に配慮し、利用者が安心して乗車できるよう改善を図る。	総務課	当市のゆるキャラである「かましちゃん」を活用し、利用者が市バスと認識できる統一した車両のカラーリングを施す。	すべての車両にカラーリングを実施。	車両全てにラッピング実施。 (マイクロバス9台・10人乗り7台)		完了			
10		⑥	車両やバス停のユニバーサルデザインの推進		1	車両更新時におけるみんなにやさしいバス等の導入の推進	円滑な移動を行う手段として、「どこでも、だれでも、自由に、使いやすく」というユニバーサルデザインの考え方にに基づき、生き生きと安全に暮らせ、すべての利用者に利用しやすい車両等の整備を図る。	総務課	耐用年数から5年を経過した車両の入れ替えを行う際に、低床バスやステップ付バス等の導入を行う。	すべての車両を低床バスやステップ付バス等とする。	老朽化に伴い、補助ステップが付いた車両(マイクロバス)2台を購入。	予算確保のめどが付き次第、幹線路線を運行しているマイクロバスを購入し、車両の入れ替えを行う。	継続中			
11					2	老朽化したバス停等の待合環境の整備	快適に公共交通を利用してもらうために、バス停と認識できる統一したデザインの確立と、利用する際の情報も確実に得ることのできる分かりやすい表示を行うとともに、交通事業者と協働で待合環境に関する改善に取り組む。	総務課 地域活性推進課	すべてのバス停を認識できる統一したデザインのバス停とする。また、利用者の多い老朽化したバス停については、早急に修繕及び新設を行う。	可能な限り、市バスの停留所表示の統一を図る。	市バスのラッピングデザインに合わせ、バス停の時刻表デザインの統一を実施した。	老朽化したバス停の修繕及び必要に応じバス停の新設を行う。	完了			
12		目標3	利便性の高い公共交通の構築		⑦	分かりやすい情報提供	1	官民一体となった、わかりやすい情報提供(公共交通マップの配布等)	近隣市町の交通網を含めた乗継場所の表示等、利用者が公共交通を利用する際に必要な情報を提供できる広域的な交通マップ及び時刻表を作成する。また、観光イベント時に公共交通を利用してもらえるようPRに取り組む。	地域活性推進課	全体見直し路線において、利用者が公共交通を利用する際に必要な情報を提供できる広域的な交通マップ及び時刻表を作成する。 (オープンデータ、総合時刻表)	現状路線と稲築桂川線を含む公共交通マップを作成。 平成31・32年度作成。	・令和3年度版の嘉麻市総合時刻表及びデマンド運行型バス乗り方ガイドチラシを作成し、市内の主要な施設に設置した。 時刻表配布部数約16,700部 ・オープンデータカタログサイトに掲載する時刻表データを作成し、各種地図アプリ等で路線を検索できるようにした。		完了	
13	⑧			誰もが利用できる公共交通への改善			1	すべての市民が制限なく利用できる公共交通体系の整理(福祉バスの市バス統合等)	合併前の運行形態を引き継ぎ、一部福祉バスにおいては利用制限が設定されているなど、利用者にとっては複雑で利用しづらい公共交通となっていることから、福祉バスを市バスへと統合し、利用者を制限することなく、利用しやすい公共交通への転換を図る。	総務課 地域活性推進課 社会福祉課	【社会福祉課】 ・市バス・福祉バスの統合、有料化という方向性は決定しているため、具体的な実施時期、路線、金額等が定まり次第、早期の告知を行い、利用者への理解を求めていく。 【地域活性推進課】 ・モニタリング調査やアンケート調査を実施し、路線や運賃案を作成する。	・利用者の要望等に沿えるよう、利便性の高い運行を行う。 ・公共交通人口カバー率(平成33年度:85%)	令和2年3月末で稲築福祉バスを廃止し、市バスに統合。		完了	
14							2	交通空白地に対する移動手段の確保	市域内における交通空白地の解消を図るため、地域のニーズを把握したうえで、持続可能性を前提に多様な運行形態の組み合わせを視野に入れ、運行経路、ダイヤ・運行本数等について地域の実情に応じた交通体系の整備を図る。	地域活性推進課	地域の実情に応じた交通空白地に対する交通体系の整備を図る。	公共交通人口カバー率(平成33年度:85%)	令和2年4月からの路線の大幅な改定及びデマンド運行型バスの運行を開始した。 (公共交通人口カバー率100%)		完了	

No	目標 番号	目標	実施 事業 番号	実施事業名	個別 事業 番号	個別事業名	事業概要	実施担当課	①取り組み内容	②評価指標及び目標値	④令和2年度までの実施内容	⑤課題及び今後(R3年度以降)の実施 予定	備考
15	目標3	利便性の高い公共交通の構築	⑨	市内外を結ぶ公共交通路線の確保	1	稲築から桂川駅方面への公共交通路線の設定	広域的な移動に対する要望として、稲築から桂川方面への公共交通路線の構築が求められている。特に桂川町に設置された高等学校への通学、また桂川方面から本市に設置される高等学校への通学手段の確保と市内唯一の鉄道の駅「下鴨生駅」と福岡方面への移動拠点となる「桂川駅」をつなぐ路線の構築を図る。	地域活性推進課	稲築から桂川方面への通学手段の確保として、稲築桂川線を新設する。	稲築桂川線の構築。 平成31年度運行開始。	平成31年4月から現在も継続して運行中。 令和2年度利用者数12,887人		完了
16					2	近隣市町との接続路線の維持・確保	広域的な移動を確保するため、近隣市町を運行する公共交通との乗継を確保するとともに、乗り継ぎが確実にできるダイヤの設定等を行う。	地域活性推進課	全体見直し路線において、市バスと民間バス等との乗継ができる路線案及びダイヤを設定する。	全体見直しを行った路線の構築。 平成32年度運行開始。	令和2年度中に路線の全体見直しを行い、嘉麻市役所、嘉麻市総合バスステーションや桂川駅等の市内外各所で市バスと民間の公共交通機関との乗継ができる路線及びダイヤを設定し、現在も運行中		完了
17			⑩	交通結節点の設置と乗継利便性の改善	1	牛隈地区にバスの乗継拠点を設置	牛隈地区に公共交通拠点を整備し、主要な路線を経由させ、当地から乗り継ぎを行うことにより多様な目的地に移動できるよう整備を行う。多くの車両が乗り入れを行う拠点として整備することから、待合環境の充実及び駐車場や駐輪場の整備を行い利便性の向上を図る。	地域活性推進課	西鉄バスや市バス等多くの車両が乗入を行う、乗継拠点として、牛隈地区に乗継拠点(総合バスステーション)を整備する。	乗継拠点の整備。 平成31年度供用開始。 交通結節点の設置箇所(平成33年度:5箇所)	・牛隈地区に乗継拠点を整備した。(平成31年(令和元年)中に完成し、令和2年4月から供用開始。) ・乗継拠点への全地区からのデマンド乗り入れを開始し、乗継の利便性を向上させた。 ・各支所にバス停を設置し他の路線や民間バスと乗継ができるよう調整を行った。		完了
18					2	生活利便施設(病院やスーパー等)への乗り入れの推進	公共交通の利用目的として多い病院や買物等での利便性の向上を図るため、各施設の玄関付近でのバス停の設置等について施設所有者と調整を図り、多くの施設での乗り入れを実施できるよう検討を行う。	地域活性推進課	利用の多い病院やスーパー等の施設への乗り入れを行い、各施設の玄関付近でのバス停の設置等について施設所有者と調整を行う。	利用の多い施設の玄関付近にバス停を設置する。	令和2年4月から大幅な路線及びダイヤの改定を行い、利用の多い病院やスーパー、ホームセンター等の商業施設付近にバス停を設置した。	引続き利用者の要望に沿えるよう施設との協議検討を継続していく。	継続中
19					3	市バスと西鉄バスやJRとの乗継ぎを考慮した運行ダイヤへの改善	広域的な移動に伴う各種交通機関への乗継ぎにおいて、適切な時間を確保したダイヤの設定を行うとともに、利用目的に応じた適切な運行時間の設定について検討を行う。	地域活性推進課	乗継ぎを考慮した運行ダイヤの設定を行う。	乗継ぎを行うバス停のダイヤの見直しを行う。	令和2年4月からの路線の大幅な改定に伴い、桂川駅、下鴨生駅や西鉄バスと乗継が可能な路線及びダイヤの編成を行った。	民間バスや鉄道のダイヤの変更等を確認し、継続して乗継が可能となるよう適宜ダイヤの見直しを行う。	継続中
20					4	乗継割引や高齢者割引の導入(ICカード装置の設置)の検討	公共交通利用の乗継ぎに対する運賃割引や高齢者の利用に対する割引を実施し、利用者の増進を図るとともに、市バスだけでなく、市内を運行する交通機関の利用に対して割引が適用でき、運用面での効率化及び利便性の向上が可能となるICカード装置の設置を検討する。	総務課 地域活性推進課 高齢者介護課	【社会福祉課】 ・現在、稲築福祉バスは登録制のため、利用者が明らかになっていることから、有料化した際には、高齢者割引、障がい者割引等を設け、現在と同じサービスを維持させたい。 【地域活性推進課】 ・モニタリング調査やアンケート調査を実施し、路線や運賃案を作成する。 【高齢者介護課】 ・高齢者の外出促進及び公共交通の利用促進を図る。	利用者の要望等に沿えるよう、利便性の高い運行を行う。	【総務課】 ・令和2年度より、市バス・福祉バスの統一を図り、新たな路線により、運行を開始した。 ・福祉バス(無料)の廃止に伴い、シニア回数券の販売を行い、幹線路線(稲築桂川線・新下鴨生桂川線・市内循環線)の路線については、PayPayでのキャッシュレス決済を導入した。 【地域活性推進課】 ・利用者の利用状況に基づき、路線の構築を行った。 【高齢者介護課】 ・平成31年4月より高齢者交通支援事業及びグランドバス65補助金交付事業を開始。事業内容の周知及び広報活動を行った。	【総務課】 ・利用者の要望等に沿えるよう、利便性の高い運行を行う。 【高齢者介護課】 ・高齢者交通支援事業及びグランドバス65補助金交付事業の実施期間等の事業内容の見直し。西鉄バス料金改定に伴う補助金額の見直しを行う。	継続中
21	目標4	持続性のある交通体系への転換	⑪	既存路線の見直しによる運行効率化	1	幹線・枝線の役割分担と重複する路線の見直し	地域間を移動する広域的な運行路線を幹線とし、幹線から各地域への移動を行う幹線を補完する路線を枝線として、各路線の目的及び役割を明確にし、運行路線の重複が生じないよう効率的な公共交通体系の整備を行う。	地域活性推進課	各路線の目的及び役割を明確にし、運行路線の重複が生じないよう効率的な運行計画を作成する。	全体見直しを行った路線の構築。 平成32年度運行開始。	令和2年4月から広域的な移動を主とする幹線路線4本と、幹線を補完する路線として枝線路線7本の運行を開始し、現在も継続して運行中。		完了
22					2	デマンド型運行等を含めた最適なサービスの提供を検討	将来にわたって持続的な運行を確保するため、利用者の少ない路線等については、車両の小型化や運行予約に応じて運行するデマンド型の運行方法について導入の検討を行う。	地域活性推進課	利用者の少ない路線等について、車両の小型化やデマンド型運行の導入を検討し、制度設計を行う。	全体見直しを行った路線の構築。 平成32年度運行開始。 市バスの収支率(平成33年度:20%)	・令和2年4月からデマンド運行型バスの運行を開始し、現在も継続して運行中。 ・枝線路線(兼デマンド運行型バス)の車両を小型化した。 ・利便性向上のため試験的に嘉穂地区のデマンドの予約時間の短縮や運行時間の変更を検討した。 ・市バスの収支率20%を達成した。		完了
23					3	公共交通に対する財政負担を考慮した運営方針の検討	需要の少ない路線や時間帯を中心に運行のあり方を検証するとともに、運行する路線の利用状況等について、随時モニタリング調査等を実施する。また、各路線における利用者数等の目標数値を設定し、目標数値を確保できない路線については、運行計画の見直し等を行うなどトリガー制度の導入を検討する。	地域活性推進課	モニタリング調査を実施し、需要の少ない路線や時間帯を中心に運行のあり方を検証し、運行路線を作成し、トリガー制度を導入する。	全体見直しを行った路線の構築。 平成32年度運行開始。 市バスの収支率(平成33年度:20%)	令和2年4月から市バスの全体の路線及びダイヤ見直しを行い、デマンド運行型バスを導入した。各路線で利用者数や収支率を集計し、利用者アンケート等でも利用状況の把握を行った。	トリガー制度の導入に向けて継続して市バスの利用状況等を把握し分析を行う。	継続中
24					4	安全・安定的な運行の支障となる路線の見直し(狭隘な道路等の回避等)	多くの利用者を一度に輸送する公共交通においては、交通事故等の防止等、安全性の確保が重要である。運行上、危険な道路を運行する路線については、利用者の利便性等に考慮しながら、他の道路等への路線変更について検討を行う。	地域活性推進課	運行上、危険な道路を運行する路線について、利用者の利便性等に考慮しながら、他の道路等への路線変更する運行路線を作成する。	全体見直しを行った路線の構築。 平成32年度運行開始。	令和2年4月から市バスの全体の路線及びダイヤ見直しを行い、路線の決定の際には警察等との協議を行い危険な道路等に対して考慮した。	道路状況の変化等を見ながら継続して安全な運行ができるよう路線の検討を行う。	継続中
25			⑫	運賃収入以外の収入の確保	1	市バスラッピングや車内広告等による収入の確保	運行する車両や時刻表、路線図等に対する企業広告の掲載を実施する。市内企業や近隣市町の企業に周知を図り、広告収入を確保することで、持続的な運行における収入の確保を図る。	総務課 地域活性推進課	運行する車両や時刻表、路線図等に対する企業広告の掲載を行う。	広告収入を確保する。	バス停に広告を掲示する制度を制定し、5社の広告を掲載し広告収入を確保した。		完了
26			⑬	公共交通利用者の維持・拡大	1	地元商店等と公共交通の連携による商業の活性化及び市バス利用者の増進	地元商店街の活性化と公共交通利用者の拡大を図るため、商店街利用者に対する公共交通回数券などの交付による利用促進策を検討する。	産業振興課	商店街イベントとコラボした市バス利用促進策の実施。	・平成31年度事業実施 ・商店街の集客UP ・市バスの利用者増	新型コロナウイルス感染症拡大により中止(R2)	・新型コロナウイルス感染症拡大により開催時期をずらして開催を行う予定。 ・市バスの利用促進に繋がるような工夫を検討中。	継続中
27					2	公共交通をみんなで維持する意識の醸成	公共交通を維持確保し、公共交通の利用に関する市民自らの意識の向上を図るため、公共交通の運営に関する現状について情報提供等を積極的に行い、また、各路線の維持に関する目標設定等を行いながら、利用状況等に応じた運行計画の改善に関する考え方について周知していく。	総務課 地域活性推進課	公共交通の運営に関する現状について情報提供等を積極的に行い、また、各路線の維持に関する目標設定等を行いながら、利用状況等に応じた運行計画の改善に関する考え方について周知を図る。	市バスの収支率(平成33年度:20%)	・令和2年度の運行経費107,288,409円に対し、運行収入33,388,200円で収支率31%となり、収支率目標20%を達成している。 ・広報誌等で定期的に市バスの周知及び利用促進を行った。		完了
28					3	高齢者・運転免許自主返納者等に対する公共交通利用促進策の検討	公共交通の利用促進を図るため、利用者ニーズに応じた運行を整備するとともに、利便性の向上に伴う、高齢者や運転免許自主返納者の公共交通への転換を促し、交通事故等の発生件数の縮減、公共交通利用者の拡大を図る。	防災対策課	高齢運転者で自発的に運転免許証を返納した方に対し、市バス回数券等を支給する嘉麻市高齢者運転免許自主返納等支援事業を実施する。	嘉麻市高齢者運転免許自主返納等支援事業実績200件	嘉麻市高齢者運転免許自主返納等支援事業の継続実施及びホームページでの広報活動を実施。 令和2年度の支援実績件数は126件となっている。	引き続き嘉麻市高齢者運転免許自主返納等支援事業を実施し、ホームページ等での広報活動と合わせ、嘉麻警察署と連携し高齢者の交通事故防止に向けた取り組みを実施する。	継続中